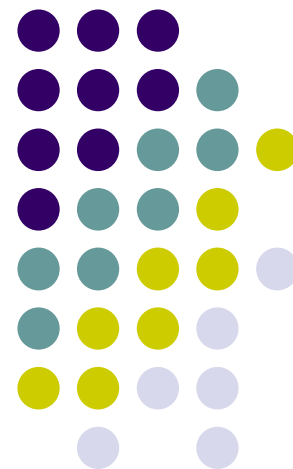


2023年3月期決算説明資料

大村紙業株式会社

東京証券取引所

3953(スタンダード市場)





目次

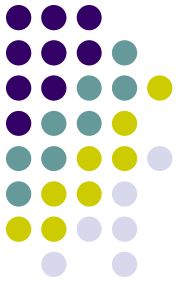
- 会社概要 ……3
- 事業の状況 ……4
- 業績概要 ……5
- 品種別売上高及び生産実績 ……8
- 今後の見通し ……9
- 売上高および経常利益の見通し ……10
- 免責事項 ……11



会社概要

- 社 名：大村紙業株式会社
- 本 社 所 在 地：神奈川県茅ヶ崎市甘沼163-1
- 代 表 者：牧山光人
- 設 立：1965年(昭和40年)3月17日
- 資 本 金：554,000千円
- 発行済株式総数：3,561,676株
- 事 業 内 容：段ボール(シート・ケース・他)の製造販売
ラベル製品の製造販売
副資材商品の販売
デザイン・ディスプレイ関係の請負
- 事 業 部：湘南・東北・大阪・栃木・静岡・三重・茨城・仙台・
京都・レーベル栃木・埼玉・千葉・レーベル埼玉
- 営 業 所：会津・レーベル湘南
- 研 究 所：包装設計デザイン研究所

事業の状況



- 当事業年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による経済活動の制限や自粛が緩和され、感染対策等を行いながら徐々に景気は緩やかに持ち直しの動きが見られました。一方で、原材料価格や資源価格の高騰、長引くロシア・ウクライナ情勢等により、依然として不透明な状況が続いております。
- この様な経済環境の中、当業界におきましては、全国段ボール生産量は前期比99.5%となりました。
- 当社は、原材料価格の高騰や資源価格の上昇による影響がありましたが、既存取引先への対応強化及び新規取引先の開拓等により下記のようになりました。
- 生産量につきましては、段ボールシート50百万㎡(前期比2.3%増)、段ボールケース34百万㎡(前期比1.1%増)となりました。売上高は5,424百万円(前期比8.9%増)となりました。利益面につきましては、経常利益271百万円(前期比15.3%増)となり、当期純利益26百万円(前期比79.8%減)となりました。
- コーポレート・ガバナンスの取り組みについては、直近の有価証券報告書に記載しておりますのでご覧下さい。また、コーポレート・ガバナンス報告書は東京証券取引所ホームページから検索しご覧いただくことができます。



業績概要①

売上高の品種別の内訳は次のとおりであります。

① 段ボールシート

売上高 933百万円(前期比16.1%増) 総売上高に占める割合は18.3%

② 段ボールケース

売上高3,445百万円(前期比8.2%増) 総売上高に占める割合は63.5%

③ ラベル

売上高 187百万円(前期比7.6%増) 総売上高に占める割合は3.5%

(単位：百万円)

	当期 (2023年3月期)	前期 (2022年3月期)	前期比率
売上高	5,424	4,980	8.9
営業利益	268	254	5.6
経常利益	271	235	15.3
当期純利益	26	130	△ 79.8
1株当たり当期純利益(円)	7.19	27.07	



業績概要②

総資産につきましては、前事業年度末に比べて、483百万円減少しまして、7,270百万円となりました。主な要因は、原材料及び貯蔵品が117百万円、受取手形及び売掛金が139百万円増加し、一方で、現金及び預金が652百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前事業年度末に比べ215百万円増加しまして、2,420百万円となりました。

純資産につきましては、前事業年度末より698百万円減少しまして、4,849百万円となりました。

自己資本比率は66.7%となっております。

(単位：千円)

資産の部	当期末 (2023年3月末)	前期末 (2022年3月末)
流動資産	4,701,226	5,095,865
現金及び預金	2,805,774	3,458,764
受取手形	438,988	394,180
売掛金	808,759	714,192
棚卸資産	634,711	518,573
その他流動資産	12,992	10,154
固定資産	2,568,786	2,657,250
有形固定資産	2,289,173	2,371,607
無形固定資産	5,334	10,668
投資その他の資産	274,278	274,974
資産合計	7,270,013	7,753,115

(単位：千円)

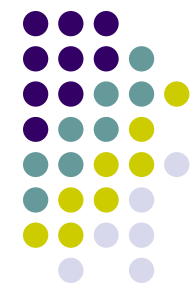
負債・純資産の部	当期末 (2023年3月末)	前期末 (2022年3月末)
流動負債	1,725,554	1,484,180
支払手形	1,159,681	971,514
買掛金	206,526	186,475
未払法人税等	57,028	63,449
その他の流動負債	302,319	262,741
固定負債	695,070	721,014
退職給付引当金	142,332	154,018
役員退職慰労引当	450,639	444,025
その他	102,098	122,969
負債合計	2,420,625	2,205,194
純資産合計	4,849,387	5,547,921
負債・純資産合計	7,270,013	7,753,115



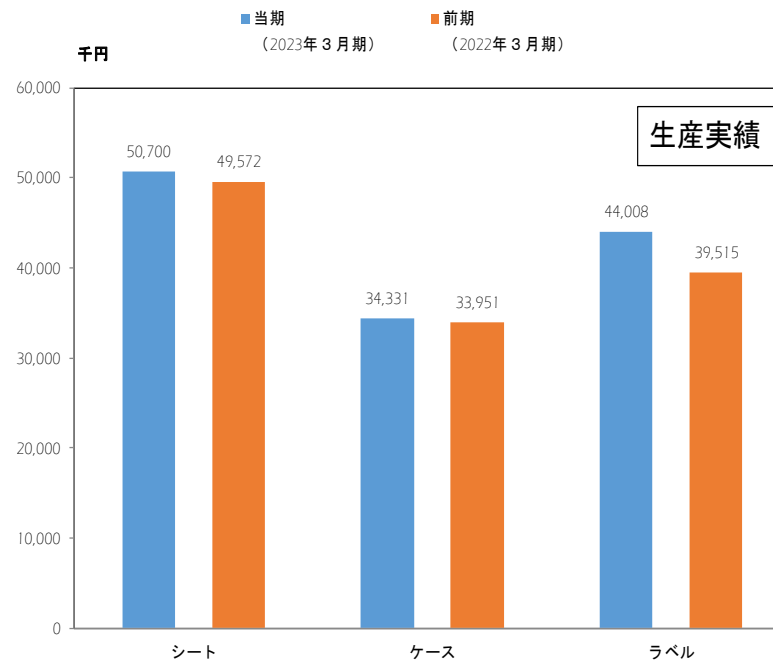
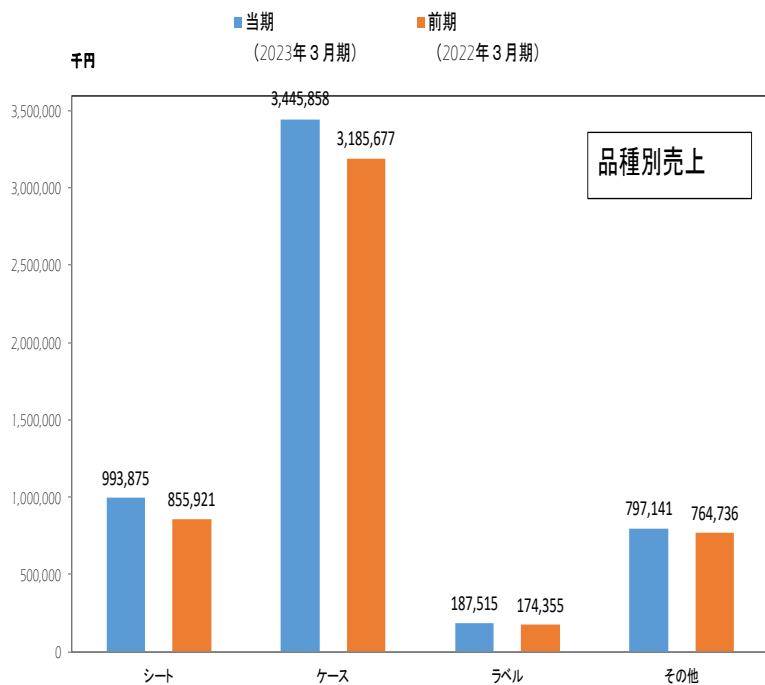
業績概要③

(単位：千円)

	当期 (2023年3月 期)	前期 (2022年3月 期)
営業活動による キャッシュ・フロー	318,981	328,339
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 225,735	△ 177,844
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 746,240	△ 67,544
増減額 (減少：△)	△ 652,994	82,950
現金及び現金同等物の 期首残高	3,226,516	3,143,566
現金及び現金同等物の 期末残高	2,573,522	3,226,516



品種別売上高及び生産実績





今後の見通し

- 次期の見通しにつきましては、原材料価格の動向や物価の上昇、資源・エネルギー価格の高騰等、依然として先行きは厳しい状況が続きますが、新型コロナウイルス感染症の分類引き下げにより経済活動の正常化を期待しております。
- 当社は小ロット・多品種・短納期でも最高のサービスと高品質を届ける事をスローガンとして掲げお客様の段ボールニーズに対し、いち早く・的確に応えてまいりたいと考えています。
- 当社の2024年3月期の通期業績予想につきましては、売上高6,221百万円(前期比14.7%増)、営業利益301百万円(同12.2%増)、経常利益300百万円(同10.8%増)及び当期純利益210百万円(同701.1%増)を計画しております。
- 利益配分の方針は、安定的な経営基盤確立のための内部留保の充実と、安定配当の維持を基本としております。内部留保金につきましては、業績の安定に向けた財務体質の強化、生産設備の増強による生産性の向上及び販売体制充実のため有効活用する方針であります。これは将来の利益に貢献し、かつ株主各位への安定的な利益還元に寄与できるものと考えております。



売上高および経常利益の見通し

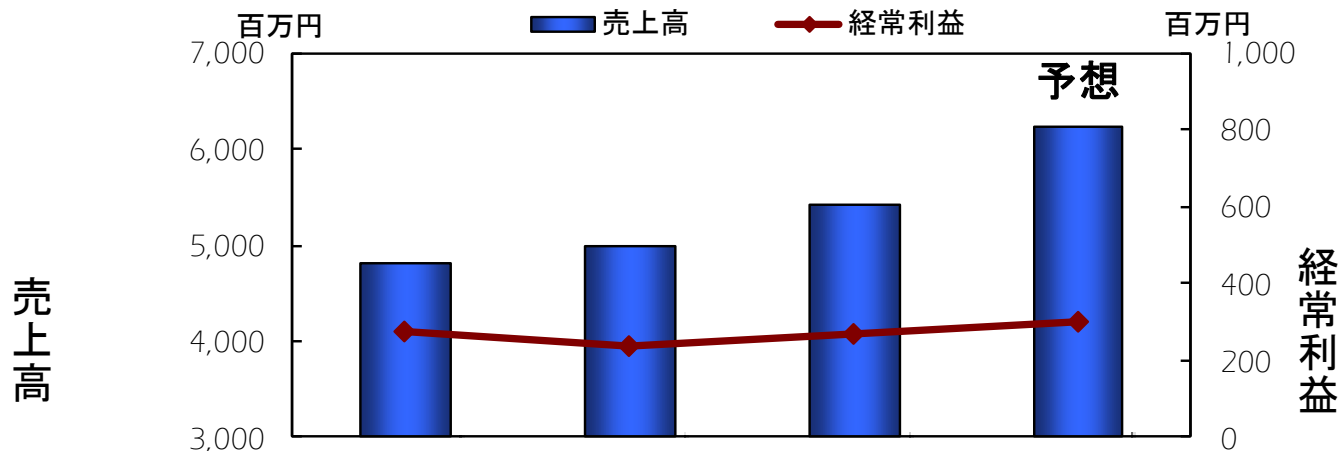
※2024年3月期予想

売上高6,221百万円(前期比14.7%増)

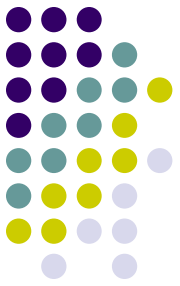
営業利益301百万円(同12.2%増)

経常利益300百万円(同10.8%増)

当期純利益210百万円(同701.1%増)を計画



	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期 予想
売上高	4,801	4,980	5,424	6,221
経常利益	275	235	271	300



免責事項

- 当資料に記載されている情報のうち当社の計画、見通し、戦略、確信などの歴史的事実でないものは、将来の業績に関する予想値であり、現時点において入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断にもとづいております。実際の業績はさまざまな重要な要素により、かかる予想値とは大きく異なる結果となりうることをご承知ください。
- 当資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は利用者ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
- 当資料の掲載内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りなどによって生じた問題などに関しましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。
- 当資料には大村紙業の将来についての計画・戦略・業務に関する予想および見通しの記述が含まれております。これらの記述は過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定および所信に基づく見込みです。また、市場の需給動向、製紙業界における厳しい競争、経済のファンダメンタルズ、等々に関するリスクや不確実性を際限なく含んでいます。それゆえ実際の業績・達成度は当社の見込みとは異なるかもしれないことを予めご承知おきください。